

2024年  
4月

## 県内景況・確報

◎概況 県内景況は、回復している。

●2024年4月 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



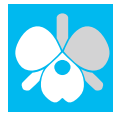
やや良い

## 個人消費



やや良い

## 建設関連



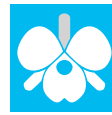
ふつう

## 観光関連



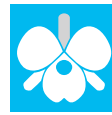
やや良い

## 企業倒産



やや良い

## 雇用状況



やや良い

4月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

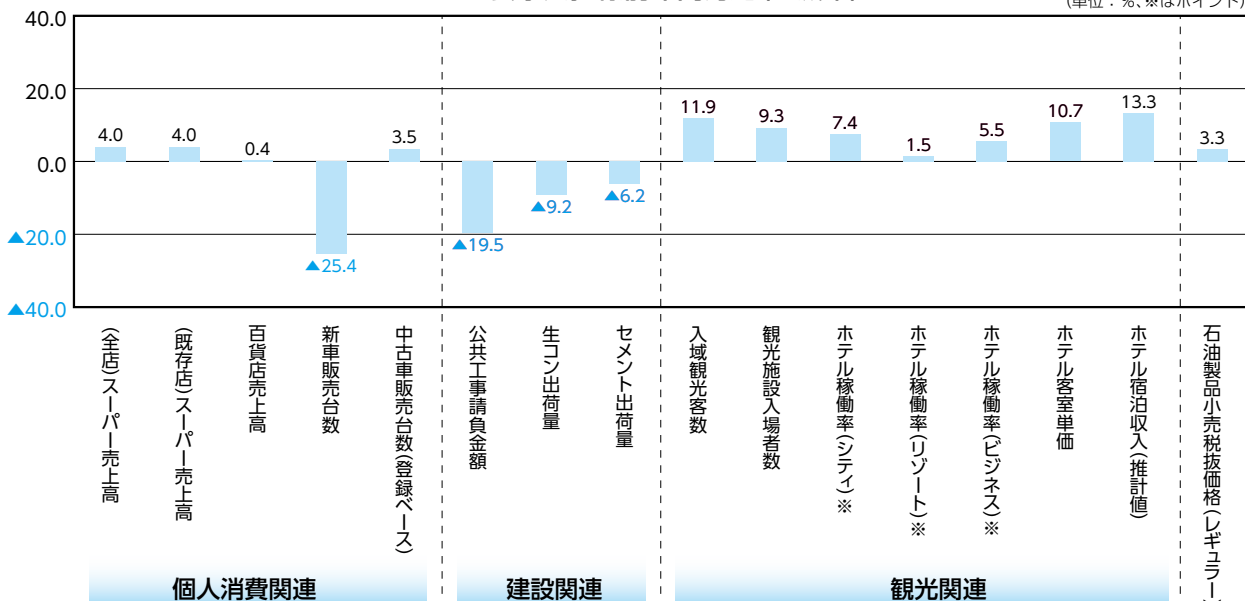
**観光関連**では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設関連は、このところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、**「県内景況は、回復している」**と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から7か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位：%、※はポイント)





# 個人消費



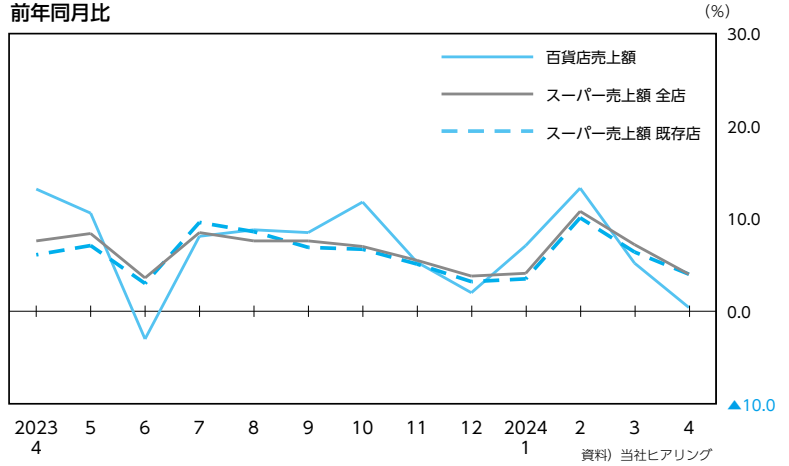
(やや良い)

## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比4.0%増）」は、23ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同3.1%増）」は、来店客数の増加や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同10.1%増）」は、新生活向け商品の販売好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同4.4%増）」は、前年同月を上回りました。

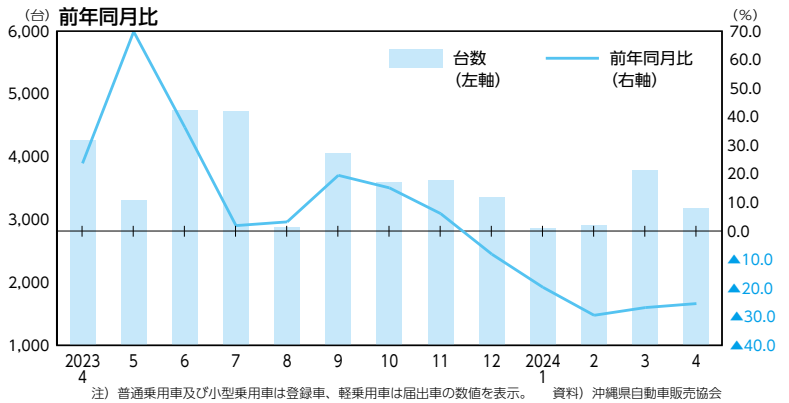
「既存店ベース（同4.0%増）」は、23ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同3.2%増）」は、来店客数の増加や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「家庭用品（同8.9%増）」は、新生活向け商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同4.8%増）」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、10ヵ月連続で前年同月を上回りました（同0.4%増）。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同7.7%増）」は、催事企画や免税売り上げの好調等により前年同月を上回りました。「食堂喫茶（同6.0%増）」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨（同5.9%増）」は、免税売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同4.8%減）」、「身廻品（同5.8%減）」、「家庭用品（同6.1%減）」は、前年同月を下回りました。



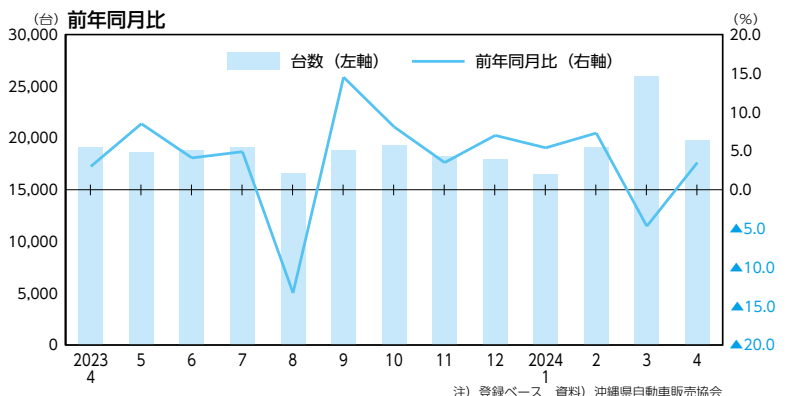
## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で3,184台（同25.4%減）となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同15.8%減）」、「小型乗用車（同34.5%減）」は一部メーカーの出荷停止や遅れ、レンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車（同30.7%減）」は、一部メーカーの出荷停止やレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。



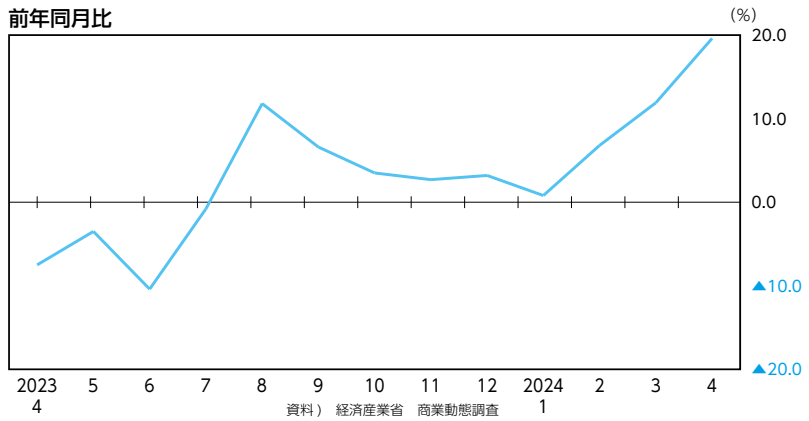
## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で19,770台（同3.5%増）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車（同7.6%増）」、「軽自動車（同1.2%増）」は、ともに前年同月を上回りました。



## ④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

4月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



## 建設関連

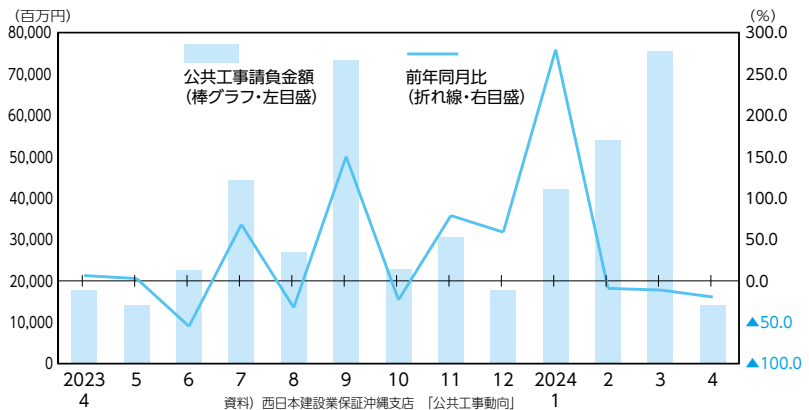


(ふつう)

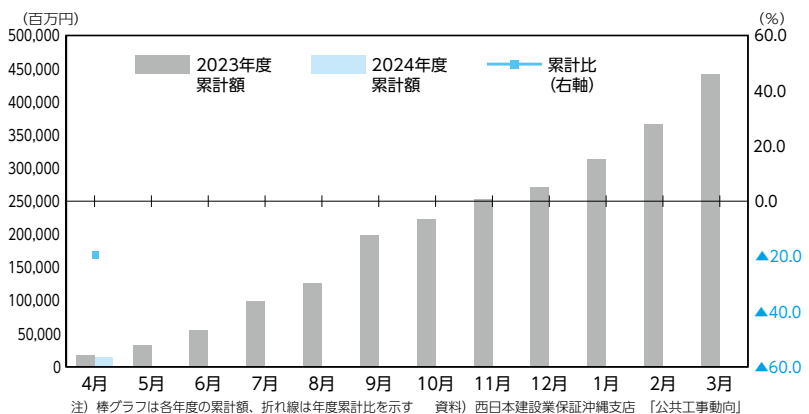
## ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

4月の公共工事請負金額は、前年同月比19.5%減の142億2,700万円となりました（3ヵ月連続減）。

発注者別でみると、「独立行政法人等（97.4%減）」、「市町村（同41.9%減）」、「国（同32.1%減）」は前年同月を下回りました。一方、「沖縄県（同37.7%増）」、「その他の公共的団体（152.4%増）」は前年同月を上回りました。



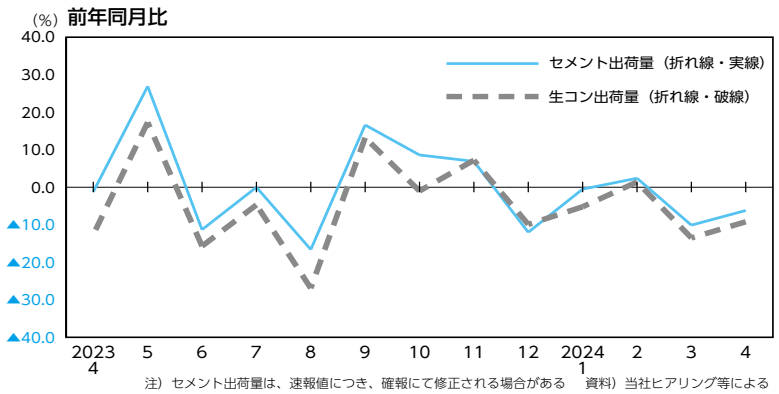
## 【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。





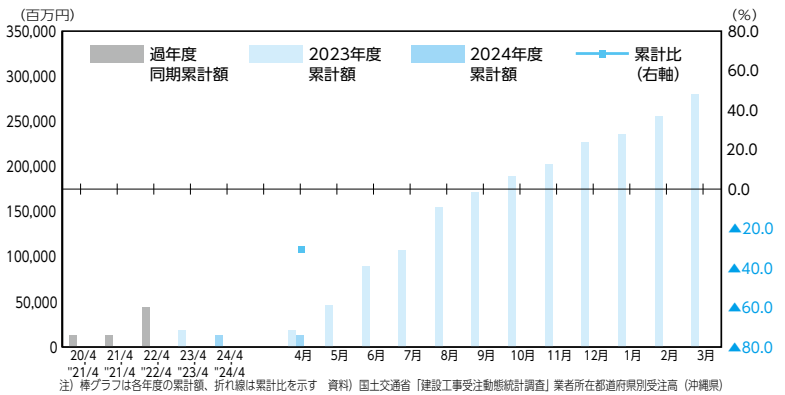
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は9.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、民間工事向けは、中南部地区、石垣地区、北部地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を12.4%下回りました。公共工事向けは、中南部地区での出荷が減少したことなどから前年同月を2.6%下回りました。セメントの出荷量は、6.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。



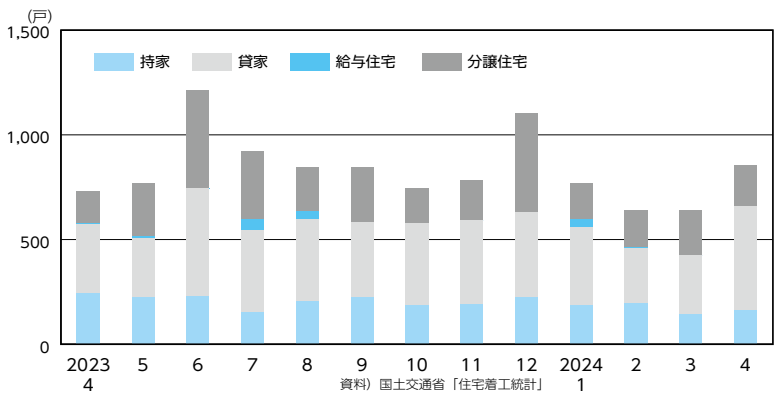
## ③ 【参考】民間等元請受注(年度累計)…前年同期を下回る。

2024年度累計値では、30.5%減となっています。



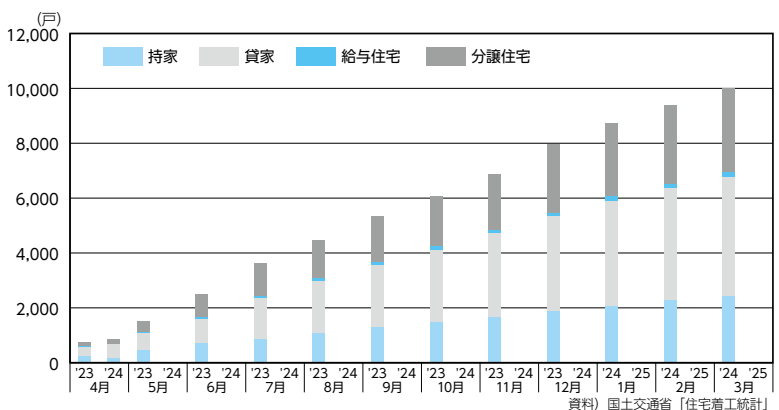
## ④ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

4月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比16.2%増の852戸となり、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同49.7%増)」、「分譲住宅(同22.3%増)」は前年同月を上回りました。一方、「持家(同33.1%減)」、「給与住宅(同50.0%減)」は前年同月を下回りました。



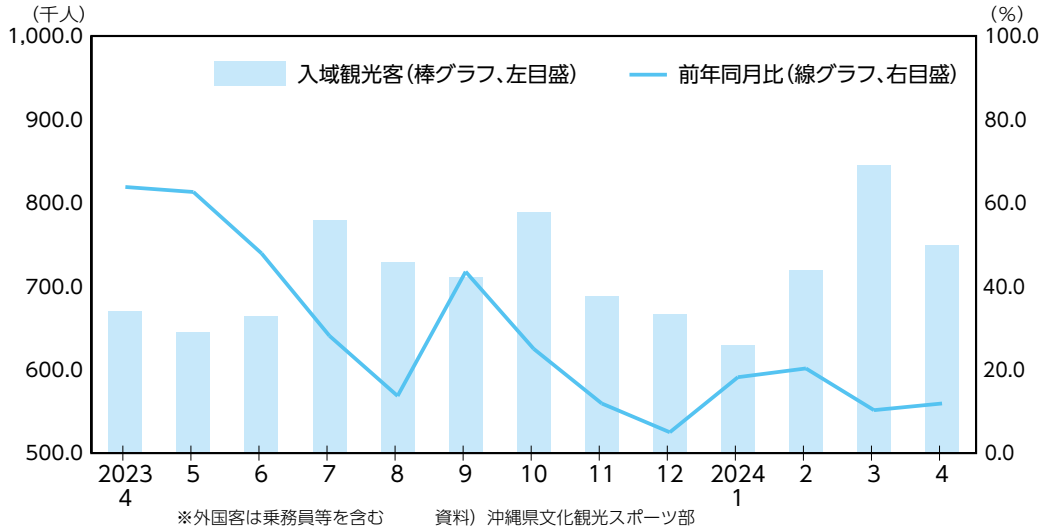
## 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

2024年度累計値では、16.2%増となっています。

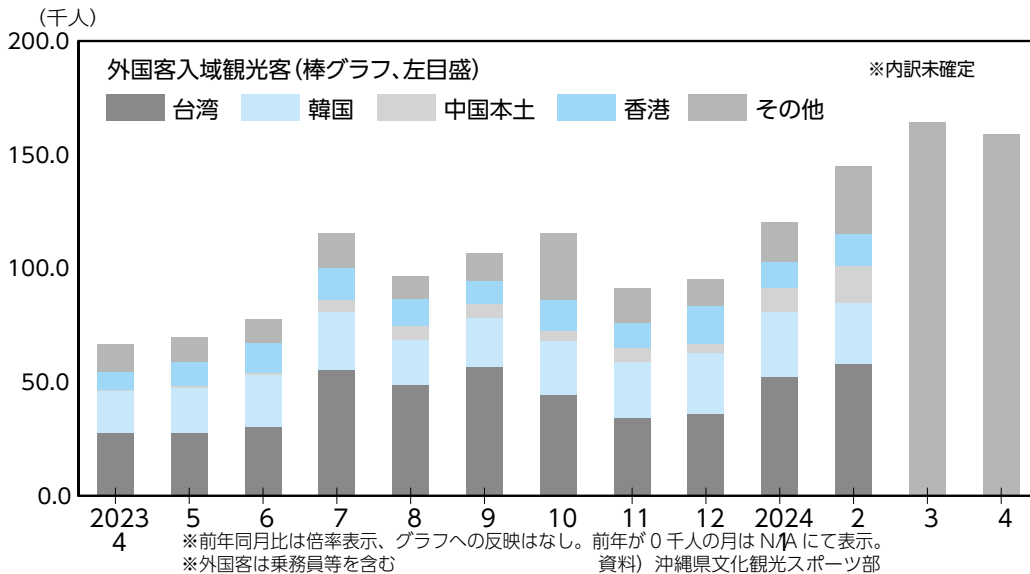




① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る。



4月の入域観光客数は、外国人観光客の増加などにより79,500人多い749,300人(前年同月比11.9%増)となり、29ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客は全国旅行支援の反動などにより12,700人少ない590,400人(前年同月比2.1%減)となりました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、102,100人減少(12.0%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、10,700人増加(1.8%増)となっています。

外国客入域観光客数は、158,900人となりました(空路107,500人、海路51,400人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



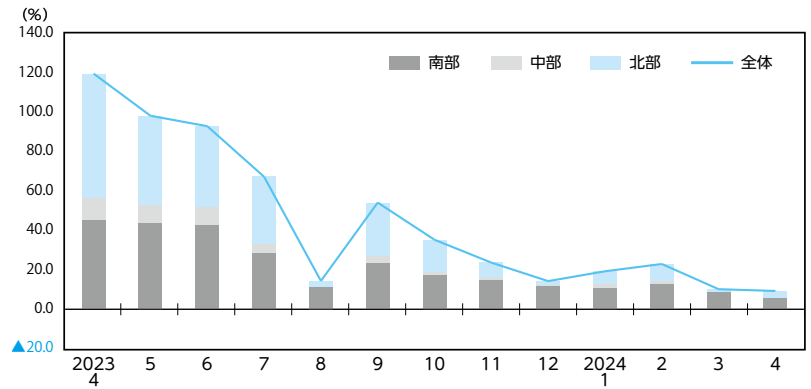
## ② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

4月の観光施設入場者数は、外国人観光客の増加などにより全体では9.3%増となり25ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は15.1%増、北部は7.1%増、中部は0.4%減となりました。

(参考) 2019年同月比では、全体で36.3%の減少となりました。

内訳では南部の観光施設は

41.7%の減少、北部は28.2%の減少、中部は52.0%の減少となっています。

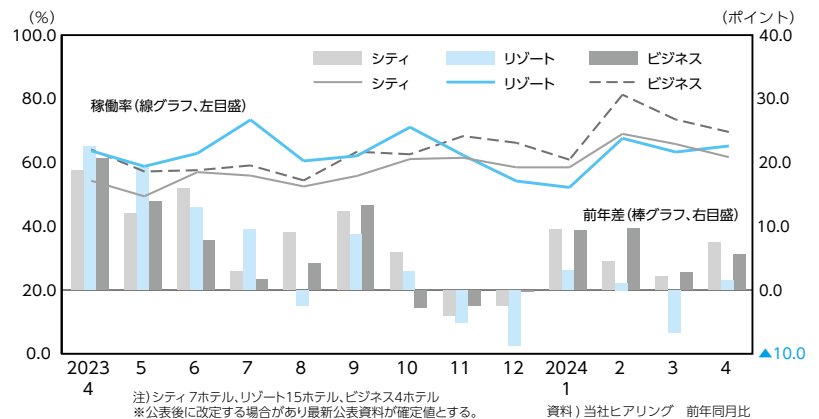


※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング 前年同月比

## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比7.4ポイント増加、リゾートホテルは1.5ポイント増加、ビジネスホテルは5.5ポイント増加しました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは18.5ポイントの減少、リゾートホテルは16.2ポイントの減少、ビジネスホテルは3.8ポイントの減少となっています。

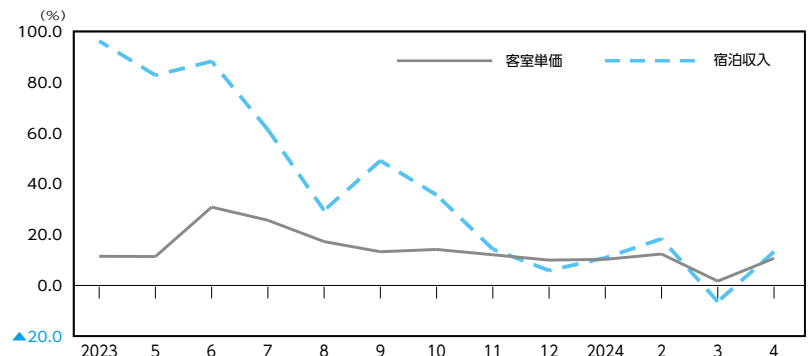


注)シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング 前年同月比

## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート)は10.7%増と15ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は13.3%増と2ヵ月振りに前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は14.1%の増加、客室収入は20.3%の減少となっています。



※対象施設数:22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く ※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計) ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする 資料) 当社ヒアリング 前年同月比



企業倒産

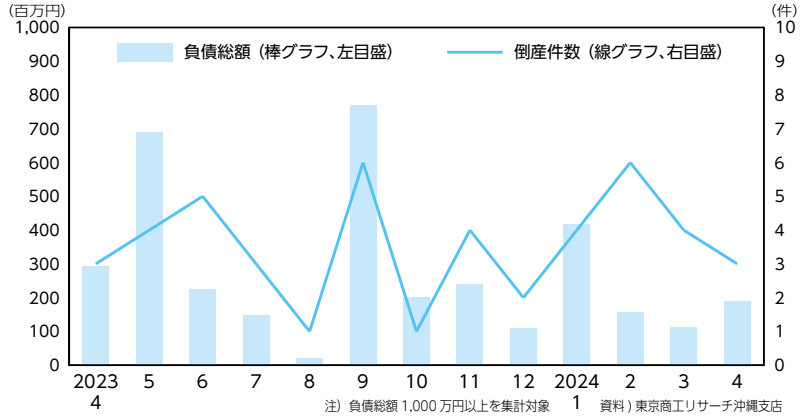


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月と同水準、負債総額は下回る。

4月の企業倒産件数は3件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産は1件）となり、前年同月と同水準となりました。

負債総額は1億8,800万円となり、前年同月より36.1%下回りました。



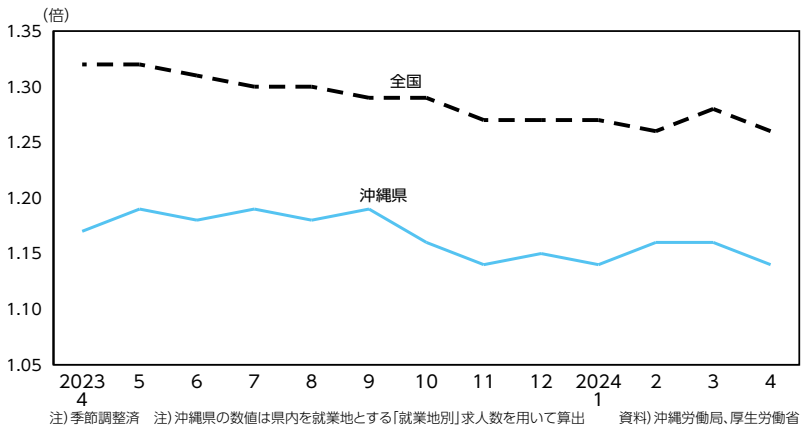
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄と全国はともに前月より低下。

4月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比2.1%減の32,477人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.1%増の28,572人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.14倍と、前月より低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

4月の完全失業率（季節調整値）は、3.9%となり前月より上昇しました。

